

令和 6 年度「会派公明党」視察報告書記入用紙

日 時	令和 7 年 2 月 3 日 (月) 1 3 時 3 0 分～1 4 時 4 0 分	
視察先	静岡県賀茂郡西伊豆町仁科 401-1	
応対者	防災課防災安全対策課 議会事務局、第 2 常任委員会委員長	
テーマ	トイレトレーラーの導入について	

【災害派遣トイレネットワークプロジェクト「みんな元気になるトイレ」】

災害時のトイレ問題をどのように解決するか検討の最中に、富士市がトイレトレーラーを導入することを聞き、その取り組みに賛同し、ぜひ助け合いの輪に入り活動したいとの強い思いから、導入することになった。

【主な事業の内容】平成 30 年 12 月導入

1. 購入費用総額約 14,243 千円（トレーラー単体のみ）
クラウドファンディング 5,406 千円（目標額 5,000 千円）
静岡県地震・津波対策等減災交付金 2,933 千円、ふるさと納税基金 5,866 千円、
一般財源 38 千円
2. 移動用けん引車両購入 3,400 千円
3. 平常時町のイベントで使用

（質疑応答）事前質疑の主なもの

1. 今までの活動状況

【回答】令和元年房総半島台風、千葉県君津市に派遣（R1.9.12～R1.10.2）令和元年観測史上最強クラスの台風の大きな被害から君津市からの要請で君津市内の清和公民館駐車場に自衛隊の仮設風呂とともに設置し被災者の生活を支援することができた。福島県いわき市他 4 か所へ派遣

3. 「災害派遣トイレネットワークプロジェクト「みんな元気になるトイレ」について

【回答】プロジェクトの参加自治体約 24（防災課回答）
＊詳細は政務活動費報告書の資料を参照してください

【事業の効果・所感】

トイレトレーラー仕様は 4 つの個室になっていて、広く清潔に使え、管理も楽で使い勝手が良いと思いました。導入のきっかけがプロジェクト「助け合いジャパン・みんな元気になるトイレ」という自然災害によって避難所生活をする人たちのために活用し、自らの自治体だけでなく近隣の自治体に応じ駆け付けれるもので、平常時はイベントなどに利用するという事で、改めてこのプロジェクトの活用に興味を持ちました。

【今後、愛川町にどのように反映できるか】

災害時は多くの人が集まる避難所では、清潔で安全で明るいトイレが 50 人に 1 つ必要とお言われています。避難所生活を余儀なくされた施設に、トイレは必要不可欠なライフラインであります。保有数も PT 加入自治体間で分散もできるので予算の軽減につながります。

平時から本町の防災・災害担当者間で連携し、大規模災害が発生した際は、近隣や協定締結自治体を中心に自治体が全国から駆け付けれるというこの災害派遣トイレネットワークプロジェクトについて調査研究が必要だと思います。